

第3回 熊本県 中九州横断道路事業調整会議 議事概要

1. 日 時 令和7年2月26日（水）15：00～
2. 場 所 国土交通省 熊本河川国道事務所 会議室
3. 出席者
国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路計画第一課長
国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長
熊本県 土木部長
熊本市 都市建設局長
（オブザーバー）
西日本高速道路株式会社 九州支社 総務企画部 企画調整課長
西日本高速道路株式会社 九州支社 熊本高速道路事務所長

4. 議事概要

○事業中区間の状況

- ・熊本県内における中九州横断道路については、令和6年度は、竹田阿蘇道路の熊本県側において、用地買収や橋梁下部工工事を推進、滝室坂道路において、令和8年度の開通を目指し改良工事やトンネル工事等を推進、大津熊本道路（大津西～合志）において、調査設計を推進、用地買収に着手、大津熊本道路（合志～熊本）において、用地買収や橋梁下部工工事を推進している。
- ・今年度より新たに事業に着手した大津道路については、調査設計を推進している。令和7年1月19日に中心杭打ち式を開催。
- ・現在、熊本県においては、企業集積エリア周辺の道路整備を全力で進めており、特に合志 IC アクセス道路については、R10 年度を目標に事業を進めている。
- ・中九州横断道路沿線では、世界的半導体企業である TSMC 社関連の第一工場が本格稼働、第二工場についても敷地造成工事が進められるなど半導体関連企業の集積が進む一方、通勤バスの実証実験・時差出勤等に取り組んでいるが、交通状況は依然として悪く、中九州横断道路の早期整備が求められている。

○熊本県、熊本市からの要望・提案

- ・熊本都市圏の円滑な人流・物流機能を確保する観点から、熊本環状連絡道路についても大津熊本道路の供用に遅れることがないように早期事業化に特段の配慮をお願いする。
- ・中九州横断道路の早期整備が必要であり、特に大津西～下硯川について、接続する九州縦貫自動車道と同水準の管理水準・料金水準で有料道路事業を導入していただくよう提案する。
- ・有料道路制度の導入については、熊本県と熊本市で協力し、県民・市民の理解促進に向けた対応を実施する。
- ・また、中九州横断道路の一日も早い全線供用に向け、有料道路制度導入に伴う都市計画手続き等、地元自治体などと連携し、取り組んでいく。

○今後の進め方

- ・国と熊本県・熊本市で情報共有を図りつつ、引き続き早期開通に向け事業を推進する。
- ・熊本県、熊本市からの提案を踏まえ、国が有料道路事業を前提に計画の検討を進める。
- ・熊本県と熊本市で協力し、有料道路制度の導入に向け県民・市民の理解促進に向けた対応を実施するとともに、必要な手続きに取り組んでいく。

第3回 熊本県 中九州横断道路 事業調整会議

令和7年2月26日

国土交通省 九州地方整備局

熊本県

熊本市

①中九州横断道路(熊本県側)の進捗状況一覧

路線名	箇所名	延長	状況	事業中箇所の 令和6年度事業予定内容(熊本県側)
中九州横断道路	竹田阿蘇道路	22.5km	事業中	・調査設計推進 ・用地買収推進 ・橋梁下部工工事推進
	滝室坂道路	6.3km	事業中 (R8年度開通予定)	・調査設計推進 ・改良工事、トンネル工事等推進
	大津道路	4.8km	事業中 (R6年度事業化)	・調査設計推進
	大津熊本道路 (大津西～合志)	4.7km	事業中	・調査設計推進
	大津熊本道路 (合志～熊本)	9.1km	事業中	・調査設計推進 ・用地買収推進 ・橋梁下部工工事等推進
	熊本環状連絡道路	約 4km	調査中	R6.2.20 都市計画決定

※ 延長は熊本県外の延長を含む

②中九州横断道路(熊本県側)の進捗状況



④中九州横断道路(熊本県側)周辺の交通状況等

(1) 周辺道路の混雑状況 ①平日朝(7時台)の速度低下

○周辺道路の速度低下についてH28.4月(企業立地増加前)、H31.4月(コロナ前)、R6.4月(最新)で比較。
○朝は、国道57号や県道30号大津植木線において、セミコンテクノパーク方向に向かう車両の速度低下が徐々に悪化している。



- セミコンテクノパーク周辺での企業進出や設備増設による雇用増加などにより、交通量が増加していることが、速度低下の要因の一つと考えられる。
- ※ セミコンテクノパーク周辺に向かう車両の速度低下区間が菊陽町役場の北側付近先頭になっているのは、町道でセミコンテクノパーク方面に北上する車両が多いため。
- 光の森周辺は面的に平均旅行速度の低下が発生しており、セミコンテクノパーク周辺へ向かう車両と熊本市方面へ通勤する車両が混在していると想定される。

【利用データ】ETC2.0プローブ情報
【分析期間】H28.4月・H31.4月・R6.4月 いずれも平日朝7時台

出典: 令和6年度 第1回熊本県交通渋滞対策協議会資料を引用

④中九州横断道路(熊本県側)周辺の交通状況等

(1) 周辺道路の混雑状況 ②平日夕方(18時台)の速度低下

○夕方は、国道57号や国道387号等、熊本市方面に向かう路線の速度低下が顕著になっている。



- 光の森周辺は面的に平均旅行速度の低下が発生。
- セミコンテクノパーク周辺から熊本市方面へ帰宅する車両と光の森周辺の住宅地へ帰宅する車両が混在していると想定される。

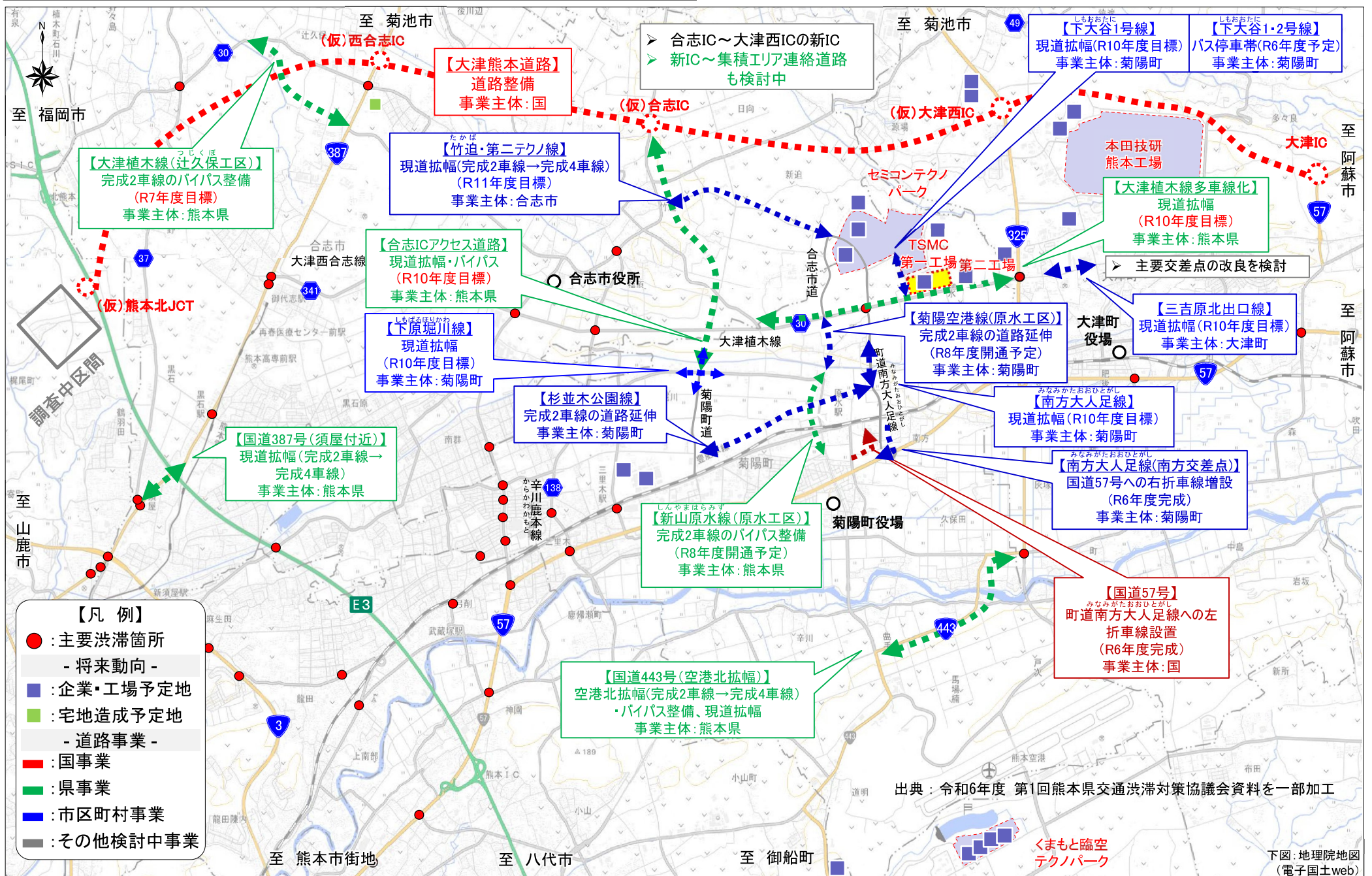
【利用データ】ETC2.0プローブ情報

【分析期間】H28.4月・H31.4月・R6.4月 いずれも平日18時台

出典: 令和6年度 第1回熊本県交通渋滞対策協議会資料を引用

⑤中九州横断道路(熊本県側)周辺の道路整備状況

(1) セミコンテクノパーク周辺将来動向と渋滞変化イメージ



第3回 熊本県 中九州横断道路 事業調整会議

【熊本県・熊本市 要望・提案事項資料】

令和7年2月26日

熊本県

熊本市

中九州横断道路の早期整備実現に向けた要望・提案事項

【熊本県・熊本市からの要望・提案事項】

《要望》○熊本都市圏の円滑な人流・物流機能を確保する観点から、熊本環状連絡道路についても大津熊本道路の供用に遅れることがないように早期事業化に特段の配慮をお願いする。

《提案》○中九州横断道路の早期整備が必要であり、特に大津西～下硯川について、接続する九州縦貫自動車道と同水準の管理水準・料金水準で有料道路事業を導入していただくよう提案する。

なお、有料道路制度の導入については、熊本県と熊本市で協力し、県民・市民の理解促進に向けた対応を実施する。

また、中九州横断道路の一日も早い全線供用に向け、有料道路制度導入に伴う都市計画手続き等、地元自治体などと連携し、取り組んでいく。



九、**其他应付款**：其他应付款期末余额为 1,000,000.00 元，较期初余额增加 1,000,000.00 元，增加原因如下：



※都市計画図を基に料金設定したものであり、**有料道路事業者の設定と必ずしも一致しない。**

（知事コメント）

第3回熊本県中九州横断道路事業調整会議における 国への提案について（知事コメント）

中九州横断道路の現在の状況などに係る情報共有を図るため、国・県・熊本市において設置した「熊本県中九州横断道路事業調整会議」の第3回会議を、本日開催しました。

中九州横断道路沿線では、国家プロジェクトであるTSMC関連のJASM第1工場が本格的に操業を開始され、第2工場についても敷地造成工事が進むなど、更なる企業集積の進展が見込まれます。

半導体関連産業の集積に伴う物流の効率化、人流の円滑化を図るためには、セミコンテクノパーク周辺の幹線道路ネットワークの中心的な道路である中九州横断道路の早期整備が不可欠です。

そのため、前回の第2回会議では、県・熊本市より、中九州横断道路の早期整備に向け、有料道路事業導入を提案したところです。

そして今回、特に「大津西～下硯川」間について、早期整備の観点から、接続する九州縦貫自動車道と同水準の管理水準・料金水準で有料道路事業を導入していただくよう、新たに提案を行いました。

今後も、中九州横断道路の1日も早い全線開通に向け、地元自治体と連携し、有料道路事業導入に伴う都市計画手続き等、必要な手続きを進めます。有料道路事業導入への県民の皆様の御理解をいただけるよう、県で主体性を持って全力で取り組んで参ります。

道路整備課

担当：竹野、橋本

直通：096-333-2871

第3回 熊本県中九州横断道路事業調整会議における 国への提案について（市長コメント）

中九州横断道路の現在の状況などに係る情報共有や早期整備に向けた協力体制を図るため、国土交通省、熊本県、熊本市において設置した「第3回熊本県中九州横断道路事業調整会議」が、本日開催されました。

前回の第2回会議では、熊本県、熊本市より、熊本都市圏の円滑な人流・物流機能を確保する観点から、「中九州横断道路 熊本北～下硯川（熊本環状連絡道路）」の早期事業化を要望するとともに、中九州横断道路の確実な早期整備に向け、有料道路事業導入を提案しました。

本道路沿線では、世界的半導体企業であるTSMC関連の第1工場が本格稼働し、また第2工場の敷地造成工事が進むなど、更なる関連企業の集積による交通需要が高まっていることから、周辺地域では速度低下が確認されるなど、交通状況は既に悪化しており、「中九州横断道路」の早期整備が不可欠です。

特に、「大津西～下硯川」間については、早期整備の観点から、接続する九州縦貫自動車道と同水準の管理水準・料金水準で有料道路事業を導入していただくよう、要望・提案を重ねて参りました。

有料道路事業の導入については、今後も引き続き、熊本県と熊本市で協力し、県民・市民の理解促進に努めるとともに、中九州横断道路の1日も早い全線開通に向け、有料道路事業導入に伴う都市計画手続き等、国や熊本県と連携し、全力で取り組んで参ります。

令和7年（2025年）2月26日

熊本市長 大西一史